

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
設定日	2014年4月4日
信託期間	2014年4月4日～2024年4月8日（約10年）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	短期NZドル債オープン（資産成長型） <ul style="list-style-type: none"><li>・短期NZドル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</li></ul> 短期NZドル債マザーファンド <ul style="list-style-type: none"><li>・ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</li></ul>
投資制限	短期NZドル債オープン（資産成長型） <ul style="list-style-type: none"><li>・株式への実質投資は行いません。</li><li>・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li></ul> 短期NZドル債マザーファンド <ul style="list-style-type: none"><li>・株式への投資は行いません。</li><li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>
分配方針	毎年3月、9月の7日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

# 運用報告書（全体版）

第6期

決算日 2017年3月7日

## 短期NZドル債オープン （資産成長型）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「短期NZドル債オープン（資産成長型）」は、去る2017年3月7日に第6期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ホームページアドレス

<http://www.daiwasbi.co.jp/>

お問い合わせ先

受付窓口：（電話番号）0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで（土、日、祝日除く。）

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

# 短期NZドル債オープン（資産成長型）

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公社債組入比率	債券先物組入比率	純資産額
	(分配落)	税金	騰落率	(参考指数)	騰落率			
第2期 (2015年3月9日)	円 10,378	円 10	% 4.3	10,374	% 4.0	% 92.9	% -	百万円 323
第3期 (2015年9月7日)	8,950	0	△13.8	8,985	△13.4	95.1	-	263
第4期 (2016年3月7日)	9,342	0	4.4	9,439	5.1	95.5	-	274
第5期 (2016年9月7日)	9,206	0	△1.5	9,349	△1.0	97.2	-	384
第6期 (2017年3月7日)	9,746	0	5.9	9,971	6.6	94.7	-	404

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (ニュージーランドドルベース) を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

\*基準価額の騰落率は分配金込み

\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公社債組入比率	債券先物組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2016年9月7日	円 9,206	% -	9,349	% -	% 97.2	% -
9月末	8,956	△2.7	9,098	△2.7	97.6	-
10月末	9,162	△0.5	9,327	△0.2	93.2	-
11月末	9,795	6.4	9,994	6.9	93.8	-
12月末	9,888	7.4	10,103	8.1	97.4	-
2017年1月末	10,109	9.8	10,326	10.4	95.2	-
2月末	9,890	7.4	10,113	8.2	95.6	-
(期末) 2017年3月7日	9,746	5.9	9,971	6.6	94.7	-

\*騰落率は期首比です。

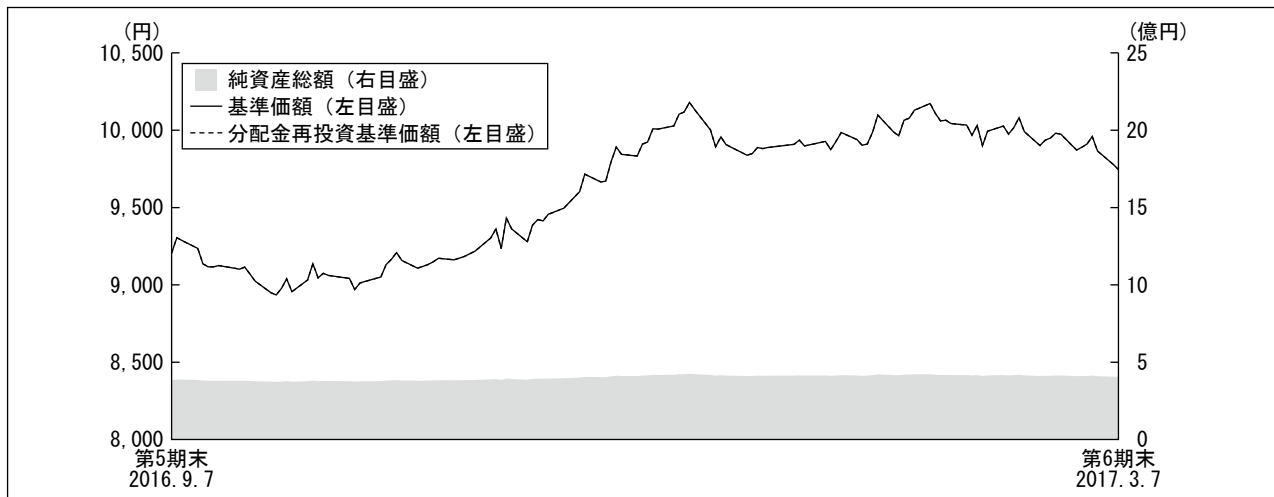
\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

# 短期NZドル債オープン（資産成長型）

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

第6期首：9,206円

第6期末：9,746円（既払分配金 0円）

騰落率：+5.9%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品へ投資を行いました。

（上昇要因）

ニュージーランドドル円相場が期首の75.11円から期末に79.67円へ上昇したことが上昇要因となりました。2016年11月の米国大統領選挙でトランプ氏が選出されたことで、米国経済への成長期待が高まり、大幅な円安・米ドル高が進行した一方、同月にニュージーランド準備銀行（RBNZ）が追加利下げを行ったものの、ニュージーランドドルの下落は小幅に止まったためニュージーランドドル円相場は上昇しました。

（下落要因）

米国でトランプ大統領が誕生したことで、米国経済の成長期待を背景に米国主導で金利上昇圧力が高まり、ニュージーランド債券利回りが上昇（価格は下落）したことが下落要因となりました。11月のRBNZ理事会で追加利下げが実施されたものの、ウィーラーRBNZ総裁が利下げ打ち止めを示唆したことから、年末にかけてニュージーランド国債利回りが一段と上昇しました。

## 短期NZドル債オープン（資産成長型）

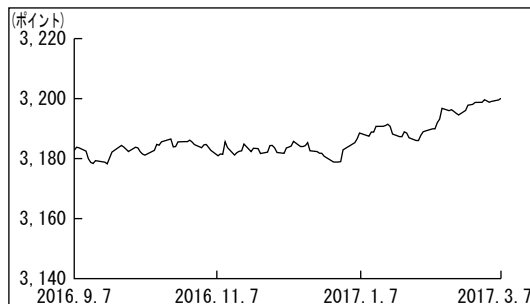
### 【投資環境】

当期のニュージーランド債券市場は、米国主導で世界的に金利上昇圧力が高まったことや、ウィーラーRBNZ総裁が利下げ打ち止めを示唆したことを背景に、ニュージーランド債券利回りは上昇（価格は下落）基調が続きました。

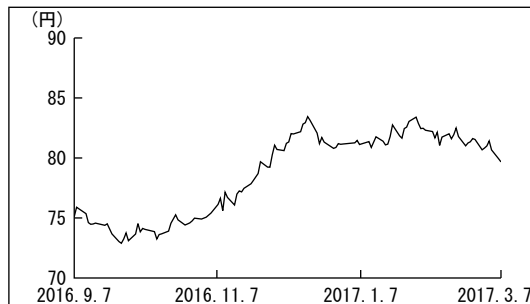
2016年9月は欧州中央銀行（ECB）が政策変更を見送ったことをきっかけに、欧州主導で長期金利が上昇して始まりました。その後11月の米国大統領選挙で減税と積極財政を唱えるトランプ氏が当選したことをきっかけに、米国主導で金利上昇圧力が高まり、ニュージーランド国債利回りは上昇基調が続きました。また、同月のRBNZ理事会で利下げが決定されたものの、ウィーラーRBNZ総裁が利下げ打ち止めを示唆したことも金利上昇要因となりました。2017年1月に入ると、投資家による旺盛な需要やトランプ米国大統領に対する不安感が広がり、利回り上昇は一服となり、期末までもみ合う展開となりました。

為替市場では、ニュージーランドドル円相場は堅調に推移しました。トランプ米国大統領の誕生で米国経済への成長期待が高まり、大幅な円安・米ドル高が進行した一方、好景気が続くニュージーランドドルの対米ドルの下落幅は小幅に止まったため、ニュージーランドドル円相場は上昇しました。

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Yearの推移



為替レート（ニュージーランドドル／円）の推移



## 短期N Zドル債オープン（資産成長型）

### 【ポートフォリオ】

#### ■短期N Zドル債オープン（資産成長型）

主要投資対象である短期N Zドル債マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は94.7%としました。

#### ■短期N Zドル債マザーファンド

当期の騰落率は、+6.5%となりました。

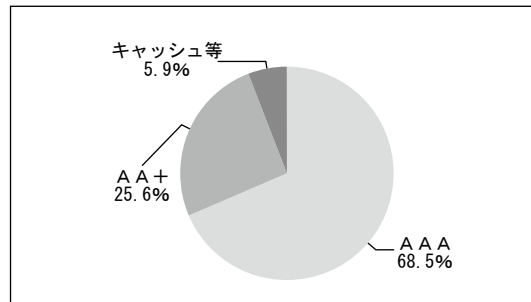
当期は、中央銀行の政策変更や政治イベントに金融市場の注目が集まり、世界的な金利上昇基調が続いたことから、金利変動リスクを機動的に調整しました。

9月はECBや米連邦準備理事会（FRB）、日本銀行の金融政策決定会合に金融市場の注目が集まる中、長期主導で金利上昇基調となり、デュレーション\*を段階的に引き下げました。欧州銀行の信用不安が台頭したため、9月末に一時的にデュレーションを2.0年へ引き上げたものの、ECBの量的緩和縮小観測で欧州債の金利上昇が波及したため、10月初めには再び1.6年程度へデュレーションを引き下げました。11月の米国大統領選挙後の世界的な金利上昇局面では、デュレーションを一段と引き下げ、12月末には1.3年程度に抑制しました。2017年の年明け後は、投資家の実需を背景に世界的に金利上昇が一服となったため、1月にデュレーションを1.5年程度に引き上げ、参考指数に対して中立的なデュレーションを期末まで維持しました。

\*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

格付別資産構成

(2017年3月7日現在)

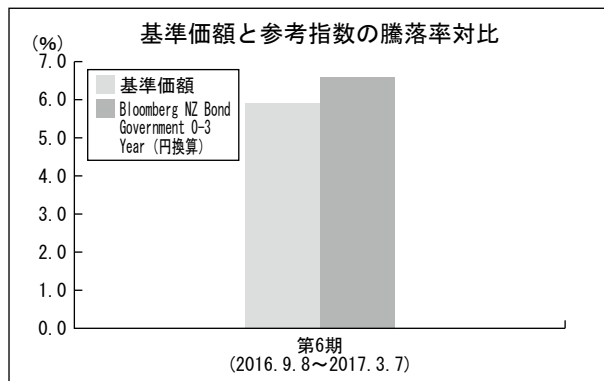


\*純資産総額に対する評価額の割合

## 短期NZドル債オープン（資産成長型）

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



### 【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせて頂きました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第6期	
	2016年9月8日 ~2017年3月7日	
当期分配金 (円)	0	
(対基準価額比率) (%)	0.00	
当期の収益 (円)	-	
当期の収益以外 (円)	-	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,208	

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 短期NZドル債オープン（資産成長型）

### 今後の運用方針

#### ■短期NZドル債オープン（資産成長型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じてニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

#### ■短期NZドル債マザーファンド

今後のニュージーランド債券市場は、トランプ米国大統領の財政政策への期待とフランス大統領選挙をはじめとする欧州での政治リスクを意識した金融市場動向に影響を受け易い状況が続く見通しです。一方で金融緩和局面が続くニュージーランドと断続的な追加利上げが見込まれる米国との違いにより、ニュージーランド債券市場は徐々に米国債市場の影響度合いが弱まると見ており、また半年後に開催が予想されるニュージーランド総選挙や退任が予定されるウィーラー総裁の政策スタンスに市場の注目が集まると予想していません。

運用方針については、RBNZの政策方針を見極めつつ機動的にデュレーションを決定していく方針です。資産配分については、国債、地方債、国際機関債、政府機関債で構成されたポートフォリオを維持する方針です。

### 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2016年9月8日～2017年3月7日		
	金額	比率	
信託報酬	58円	0.604%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,633円です。
（投信会社）	(28)	(0.294)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(28)	(0.294)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	6	0.060	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(5)	(0.055)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	64	0.665	

\*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 短期NZドル債オープン（資産成長型）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2016年9月8日から2017年3月7日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
短期NZドル債マザーファンド	千口 2,392	千円 2,443	千口 7,743	千円 7,742

### 利害関係人との取引状況等

（2016年9月8日から2017年3月7日まで）

#### <短期NZドル債オープン（資産成長型）>

##### ■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

#### <短期NZドル債マザーファンド>

##### ■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

### 組入資産の明細

2017年3月7日現在

#### ■親投資信託残高

	期首（前期末）	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
短期NZドル債マザーファンド	千口 407,135	千口 401,783	千円 407,328

\*短期NZドル債マザーファンド全体の受益権口数は、746,134千口です。

### 投資信託財産の構成

2017年3月7日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
短期NZドル債マザーファンド	千円 407,328	% 100.0
投資信託財産総額	407,328	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 ニュージーランド・ドル=79.67円

\*短期NZドル債マザーファンド

当期末における外貨建資産（723,010千円）の投資信託財産総額（756,627千円）に対する比率 95.6%



## 短期N Zドル債オープン（資産成長型）

### 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年3月7日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	407,328,601円
短期N Zドル債マザーファンド(評価額)	407,328,601
(B) 負 債	2,448,315
未 払 信 託 報 酬	2,426,934
そ の 他 未 払 費 用	21,381
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	404,880,286
元 本	415,431,270
次 期 繰 越 損 益 金	△ 10,550,984
(D) 受 益 権 総 口 数	415,431,270口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C / D)	9,746円

\* 元本状況

期首元本額	417,523,952円
期中追加設定元本額	2,484,339円
期中一部解約元本額	4,577,021円

\* 元本の欠損 10,550,984円

### 損益の状況

自2016年9月8日  
至2017年3月7日

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	24,737,670円
売 買 益	25,075,336
売 買 損	△ 337,666
(B) 信 託 報 酬 等	△ 2,448,315
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	22,289,355
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 21,450,090
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 11,390,249
(配 当 等 相 当 額)	( 12,155,792)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 23,546,041)
(F) 計 (C + D + E)	△ 10,550,984
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△ 10,550,984
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 11,390,249
(配 当 等 相 当 額)	( 12,161,171)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 23,551,420)
分 配 準 備 積 立 金	38,055,325
繰 越 損 益 金	△ 37,216,060

\* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\* 信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

\* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

< 分配金の計算過程 >

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配 当 等 取 益 (費用控除後)	9,610,974円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 收 益 調 整 金	12,161,171
(D) 分 配 準 備 積 立 金	28,444,351
分 配 可 能 額 (A + B + C + D)	50,216,496
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	( 1,208.78)
收 益 分 配 金	0
(1 万 口 当 り 收 益 分 配 金)	( 0)

## お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# 短期NZドル債マザーファンド

## 運用報告書

決算日：2017年3月7日

(第6期：2016年9月8日～2017年3月7日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	主にニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資することにより、利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。
主要運用対象	ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式への投資は行いません。</li><li>・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>



## 大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

<http://www.daiwasbi.co.jp/>

# 短期NZドル債マザーファンド

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) (参考指数)		公社債組入比率	債券先物組入比率	純資産額
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率			
第2期 (2015年3月9日)	10,525	5.0	10,374	4.0	92.3	—	百万円 768
第3期 (2015年9月7日)	9,141	△13.1	8,985	△13.4	94.4	—	718
第4期 (2016年3月7日)	9,601	5.0	9,439	5.1	94.9	—	785
第5期 (2016年9月7日)	9,519	△0.9	9,349	△1.0	96.4	—	790
第6期 (2017年3月7日)	10,138	6.5	9,971	6.6	94.1	—	756

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (ニュージーランドドルベース) を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) (参考指数)		公社債組入比率	債券先物組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2016年9月7日	9,519	—	9,349	—	96.4	—
9月末	9,268	△2.6	9,098	△2.7	97.5	—
10月末	9,491	△0.3	9,327	△0.2	93.0	—
11月末	10,155	6.7	9,994	6.9	93.5	—
12月末	10,262	7.8	10,103	8.1	97.0	—
2017年1月末	10,501	10.3	10,326	10.4	94.7	—
2月末	10,284	8.0	10,113	8.2	95.1	—
(期末) 2017年3月7日	10,138	6.5	9,971	6.6	94.1	—

\*騰落率は期首比です。

\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

期首：9,519円  
 期末：10,138円  
 騰落率：+6.5%

### 【基準価額の主な変動要因】

#### （上昇要因）

ニュージーランドドル円相場が期首の75.11円から期末に79.67円へ上昇したことが上昇要因となりました。2016年11月の米国大統領選挙でトランプ氏が選出されたことで、米国経済への成長期待が高まり、大幅な円安・米ドル高が進行した一方、同月にニュージーランド準備銀行（RBNZ）が追加利下げを行ったものの、ニュージーランドドルの下落は小幅に止まったためニュージーランドドル円相場は上昇しました。

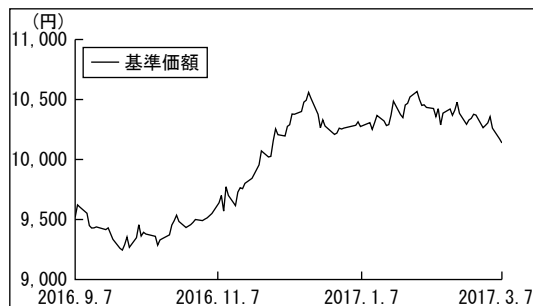
#### （下落要因）

米国でトランプ大統領が誕生したことで、米国経済の成長期待を背景に米国主導で金利上昇圧力が高まり、ニュージーランド債券利回りが上昇（価格は下落）したことが下落要因となりました。11月のRBNZ理事会で追加利下げが実施されたものの、ウィーラーRBNZ総裁が利下げ打ち止めを示唆したことから、年末にかけてニュージーランド国債利回りが一段と上昇しました。

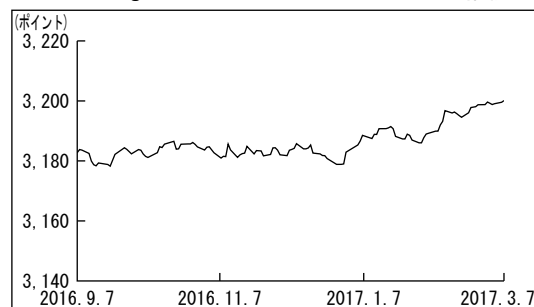
### 【投資環境】

当期のニュージーランド債券市場は、米国主導で世界的に金利上昇圧力が高まったことや、ウィーラーRBNZ総裁が利下げ打ち止めを示唆したことを背景に、ニュージーランド債券利回りは上昇（価格は下落）基調が続きました。

2016年9月は欧州中央銀行（ECB）が政策変更を見送ったことをきっかけに、欧州主導で長期金利が上昇して始まりました。その後11月の米国大統領選挙で減税と積極財政を唱えるトランプ氏が当選したことをきっかけに、米国主導で金利上昇圧力が高まり、ニュージーランド国債利回りは上昇基調が続きました。また、同月のRBNZ理事会で利下げが決定されたものの、ウィーラーRBNZ総裁が利下げ打ち止めを示唆したことも金利上昇要因となりました。2017年1月に入ると、投資家による旺盛な需要やトランプ米国大統領に対する不安感が広がり、利回り上昇は一服となり、期末までもみ合う展開となりました。



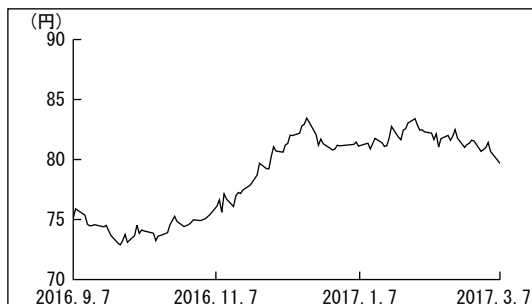
Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Yearの推移



## 短期NZドル債マザーファンド

為替市場では、ニュージーランドドル円相場は堅調に推移しました。トランプ米国大統領の誕生で米国経済への成長期待が高まり、大幅な円安・米ドル高が進行した一方、好景気が続くニュージーランドドルの対米ドルの下落幅は小幅に止まったため、ニュージーランドドル円相場は上昇しました。

為替レート（ニュージーランドドル/円）の推移



### 【ポートフォリオ】

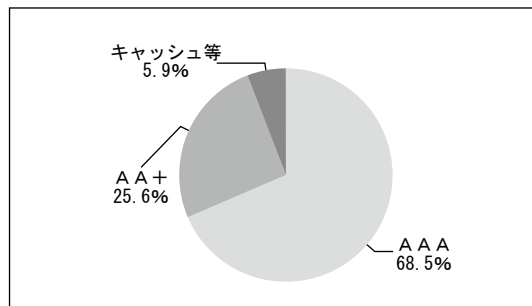
当期の騰落率は、+6.5%となりました。

当期は、中央銀行の政策変更や政治イベントに金融市場の注目が集まり、世界的な金利上昇基調が続いたことから、金利変動リスクを機動的に調整しました。

9月はECBや米連邦準備理事会（FRB）、日本銀行の金融政策決定会合に金融市場の注目が集まる中、長期主導で金利上昇基調となり、デュレーション\*を段階的に引き下げました。欧州銀行の信用不安が台頭したため、9月末に一時的にデュレーションを2.0年へ引き上げたものの、ECBの量的緩和縮小観測で欧州債の金利上昇が波及したため、10月初めには再び1.6年程度へデュレーションを引き下げました。11月の米国大統領選挙後の世界的な金利上昇局面では、デュレーションを一段と引き下げ、12月末には1.3年程度に抑制しました。2017年の年明け後は、投資家の実需を背景に世界的に金利上昇が一服となったため、1月にデュレーションを1.5年程度に引き上げ、参考指数に対して中立的なデュレーションを期末まで維持しました。

格付別資産構成

(2017年3月7日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

\*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

基準価額の騰落率は、参考指数であるBloomberg NZ Bond Government 0-3 Year（円換算）の騰落率+6.6%を0.1%下回りました。

# 短期NZドル債マザーファンド

## 今後の運用方針

今後のニュージーランド債券市場は、トランプ米国大統領の財政政策への期待とフランス大統領選挙をはじめとする欧州での政治リスクを意識した金融市場動向に影響を受け易い状況が続く見通しです。一方で金融緩和局面が続くニュージーランドと断続的な追加利上げが見込まれる米国との違いにより、ニュージーランド債券市場は徐々に米国債市場の影響度合いが弱まると見ており、また半年後に開催が予想されるニュージーランド総選挙や退任が予定されるウィーラー総裁の政策スタンスに市場の注目が集まると予想しています。

運用方針については、RBNZの政策方針を見極めつつ機動的にデュレーションを決定していく方針です。資産配分については、国債、地方債、国際機関債、政府機関債で構成されたポートフォリオを維持する方針です。

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2016年9月8日～2017年3月7日		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	5円	0.054%	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
(その他)	(5)	(0.054)	
合計	(0)	(0.000)	
合計	5	0.054	
期中の平均基準価額は9,994円です。			

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 円未満は四捨五入しています。

## 売買及び取引の状況

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

### ■ 公社債

		買	付	額	売	付	額
外 国	ニュージーランド	国債証券		千ニュージーランド・ドル 3,477		千ニュージーランド・ドル 3,793	
		地方債証券		—		446	
		特殊債証券		1,006		930 ( 300)	

\* 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

\* ( ) 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

# 短期NZドル債マザーファンド

## 主要な売買銘柄

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

### ■公社債

買		当		期		売	
銘	柄	金	付	銘	柄	金	付
			額				額
			千円				千円
NEW ZEALAND GOVERNMENT	5 03/15/19	86,622		NEW ZEALAND GOVERNMENT	6 12/15/17	166,496	
NEW ZEALAND GOVERNMENT	5.5 04/15/23	82,150		NEW ZEALAND GOVERNMENT	5.5 04/15/23	91,627	
INT BK RECON & DEVELOP	3.375 08/13/17	81,720		EUROPEAN INVESTMENT BANK	7.5 12/15/17	60,075	
NEW ZEALAND GOVERNMENT	3 04/15/20	67,468		NEW ZEALAND GOVERNMENT	5 03/15/19	43,003	
NEW ZEALAND GOVERNMENT	6 12/15/17	39,234		NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	6 05/15/21	35,808	
				ASIAN DEVELOPMENT BANK	4.125 10/28/16	14,999	

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

## 利害関係人との取引状況等

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

### ■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

## 組入資産の明細

2017年3月7日現在

### ■公社債

#### A 債券種類別開示

##### 外国（外貨建）公社債

区 分	当				期				末		
	額 面 金 額	評 価		組入比率	う ち BB格以下 組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率					
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満			
	千ニューージーランド・ドル	千ニューージーランド・ドル	千円	%	%	%	%	%			
ニュージーランド	8,600	8,938	712,148	94.1	—	—	41.0	53.1			
合 計	—	—	712,148	94.1	—	—	41.0	53.1			

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## 短期NZドル債マザーファンド

### B 個別銘柄開示

#### 外国（外貨建）公社債

銘柄	種類	当 利 率	期 額 面 金 額	末		償 還 年 月 日
				評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ニュージーランド・ドル・ニュージーランド)		%	千ニュージーランド・ドル	千ニュージーランド・ドル	千円	
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	6.0000	500	515	41,097	2017/12/15
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	6.0000	100	113	9,039	2021/05/15
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	5.0000	1,500	1,583	126,139	2019/03/15
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	3.0000	1,000	1,017	81,042	2020/04/15
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	6.0000	1,000	1,028	81,974	2017/12/15
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	5.0000	200	209	16,681	2019/03/15
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	6.0000	600	664	52,936	2021/05/15
LANDWIRTSCH. RENTENBANK	特殊債券	7.0000	100	100	8,022	2017/05/10
LANDWIRTSCH. RENTENBANK	特殊債券	4.0000	300	307	24,497	2020/01/30
INT BK RECON & DEVELOP	特殊債券	3.3750	1,000	1,005	80,071	2017/08/13
INTL FINANCE CORP	特殊債券	6.2500	500	515	41,036	2017/12/15
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	7.5000	1,300	1,350	107,581	2017/12/15
COUNCIL OF EUROPE	特殊債券	7.5000	500	527	42,028	2018/04/30
合 計	—	—	8,600	8,938	712,148	—

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

### 投資信託財産の構成

2017年3月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 712,148	% 94.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	44,478	5.9
投 資 信 託 財 産 総 額	756,627	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 ニュージーランド・ドル=79.67円

\*当期末における外貨建資産（723,010千円）の投資信託財産総額（756,627千円）に対する比率 95.6%



# 短期N Zドル債マザーファンド

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年3月7日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	855,206,571円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	33,614,984
公 社 債(評価額)	712,148,539
未 収 入 金	98,581,397
未 収 利 息	9,359,929
前 払 費 用	1,501,722
(B) 負 債	98,744,203
未 払 金	98,734,555
未 払 解 約 金	9,648
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	756,462,368
元 本	746,134,513
次 期 繰 越 損 益 金	10,327,855
(D) 受 益 権 総 口 数	746,134,513口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	10,138円

\* 元本状況

期首元本額	830,417,853円
期中追加設定元本額	31,178,048円
期中一部解約元本額	115,461,388円

\* 元本の内訳

短期N Zドル債オープン (毎月分配型)	344,350,530円
短期N Zドル債オープン (資産成長型)	401,783,983円

## 損益の状況

自2016年9月8日  
至2017年3月7日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	21,006,872円
受 取 利 息	21,015,449
支 払 利 息	△ 8,577
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	30,423,716
売 買 益	63,495,335
売 買 損	△33,071,619
(C) そ の 他 費 用	△ 424,557
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	51,006,031
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△39,932,633
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 1,363,632
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	618,089
(H) 計 (D+E+F+G)	10,327,855
次 期 繰 越 損 益 金(H)	10,327,855

\* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\* 解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

## お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。



世界に通用する質の高い  
資産運用会社を目指します